

仕様書

全自動錠剤散薬分包機及び周辺機器等について以下の要件を満たすこと

1 全自動散薬分包機について以下の要件を満たすこと。	
1-1	横幅は1,100mm以下であること。
1-2	奥行は600mm以下であること。
1-3	高さは1,200mm以下であること。
1-4	散薬分割数は90以上であること。
1-5	分包速度は3段階以上調整が可能であること。
1-6	分包サイズは横50mm～90mm間で5段階以上調整が可能であること。
1-7	錠剤手捲きコンベア48マス以上であること。
1-8	コンベア処方では、LEDの光で手捲き箇所を表示できること。
1-9	用法毎に分包紙が色分けできること。
1-10	オートカッター機能を標準装備とすること。
1-11	分包紙が開けやすいこと。
1-12	薬剤の通過経路（シート部分）の清掃が容易なこと。
1-13	清掃時の利便性が良いこと。
1-14	集塵対策がされており清掃が容易なこと。
1-15	集塵機のメンテナンス性が良いこと。
1-16	既存調剤システムと連携可能であること。
2 全自動錠剤ユニットについて以下の要件を満たすこと。	
2-1	横幅は1,100mm以下であること。（全自動散薬分包機との接続後）
2-2	奥行は990mm以下であること。（全自動散薬分包機との接続後）
2-3	高さは1,990mm以下であること。（全自動散薬分包機との接続後）
2-4	錠剤カセットの収納数は96個以上であること。
2-5	錠剤カセットは帯電防止加工を施した紫外線遮断率98%以上の樹脂であること。
2-6	錠剤カセットは視認性が高く、薬品残量も容易に確認できること。
2-7	錠剤カセットは薬品マスタ上の情報と紐付けることができること。
2-8	錠剤カセットは水拭き清掃ができること。
3 薬袋印字システム（プリンター）について以下の要件を満たすこと	
3-1	既存システムに接続可能であること。
3-2	印刷方式はレーザー式であること。
3-3	普通紙・再生紙はA6～A3サイズが印刷可能であること。
3-4	薬袋はA6～B4サイズが印刷可能であること。
3-5	薬袋はジャストシール薬袋、透明薬袋、A4ガゼット薬袋、角底薬袋に対応すること。
3-6	印刷速度は35枚/分（薬袋25枚/分）程度以上であること。
3-7	給紙トレイは5段以上であること。（手差しトレイは含めない）
3-8	既存機器については撤去すること。